

介護部会 湘南東ブロック会議 報告書

実施日 平成30年 9月 12日(水) 14:00~16:00

会議実施会場 介護老人保健施設 ふれあいの桜

参加人数 8施設 11名 参加

老健クローバーヴィラ 湘南の丘 清流苑 ふれあいの渚
茅ヶ崎浜之郷 湘南わかば苑 ふれあいの桜

議事項目『介護報酬改定に伴う加算に対する各施設の取り組みについて』

内容

1. 介護報酬改定に伴う加算に対する各施設の取り組みについて

【A施設】

10項目の指標基本型。

加算については褥瘡加算を8月パソコン上で管理。褥瘡委員会で
ケア計画書を作成し、各居室担当者が入力を行なっている。

口腔ケアでは、口腔衛生加算をとっている

排泄に関してはまだ行っていない

【B施設】

従来型から基本型を目指している。基本型を維持していくために
在宅復帰委員会を立ちあげている。

フロアに本を配り意識付けを行なっている。

経口維持加算は今月から取り組んでいる

【C施設】

改訂に対して介護が何をしていくのかまだ決まっていない

改訂を知らない職員もいるのが現状

現在、介護職が行なっているのは経口維持加算のみ

【D施設】

褥瘡、経口を検討中

在宅復帰が後手後手に回っている

【E施設】

基本型を取っている。加算は検討中

【F施設】

超加算型を取っている

褥瘡、経口、排泄と他職種と連携してカンファレンスを行なっている

短期集中リハビリ、ターミナル加算も取っている

【G施設】

加算型を取っている

口腔維持はSTで行なっている。排泄は検討中。

褥瘡マネジメントは今月から行う予定

2. 質疑応答

①加算を取る為に入退所等経営的な物はどう考えているのか

・今までは長期入所に対応していたが今は入退所相談をふまえて検討している

・コンスタントに加算を取る為に家族には細かい説明をしている

・加算よりも稼働率を重視している

・在宅復帰より稼働率を上げることに変えており計画的に

在宅復帰は出来ていない

・入所だけでは稼働率は上がらないのでショート利用を増やして対応している

②剃刀や歯ブラシなどの感染対策について

・個別対応しているが感染の無い方の剃刀は消毒し使用している施設もある

③実習生の受け入れについて

・介護専門学校や福祉大学を受け入れてきたが減ってきている

・初任者研修や看護実習はきているが介護実習は来ていない

・実習指導者はいるが実習生が来ない為に手もちぶたさになっている

・学校が実習先を選別している傾向がある

④施設内勉強会について

・一ヶ月に3~4回行っているが、外部から講師を呼ぶ時の方が参加率が高い

・教育委員で月に1~2回位フロアごとに行なっている

・新人職員に対してのフォローアップを検討している

・1ヶ月に1回ミーティング内で行ない、参加しない職員に対しては

レポート提出する

⑤入職職員の指導について。新卒(未経験)と経験者の違いは

・チェックシートを使用しているが経験関わらず同じ物を使用している

・5段階評価を毎日行っている(未経験。経験者同様)

指導職員と入職職員お互いに5を付けないと次に進ませない。

不安が有る中で独り立ちさせないように指導している

・1日の目標を書いてもらい業務の最後に5~10分位面接を行ない指導する

・経験者の入職が多くチェックシートを用いているが個人差が出る

ブロック長より

・神奈川県介護部会部会長が今年度で任期終了になります(任期は2年)
現在の副会長が部会長になる為に副会長を選出する事になります
副会長の希望者はブロック長まで連絡をください

次回は12月『神恵苑』で開催予定